

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和6(2024)年度第2回みよし市教育振興基本計画推進委員会		
開催日時	令和6(2024)年7月24日(水) 午後2時から午後4時30分まで		
開催場所	みよし市役所 6階 601・602会議室		
出席者	<p>委員長：大村 恵 副委員長：都築 克章 委員：渡辺 桜 大地由美子 丹羽 浩介 黒田 和秀 林 晴子 山田 竜治 山岡 直子 富樫佐智子 鈴木 康之 平山 啓子 清水 素子 事務局：増岡教育長 富田教育部長 新美教育部参事 岡田教育部次長兼学校教育課長 鈴木教育部副参事兼学校教育課主幹 関こども未来部保育課副主幹 木野スポーツ課副主幹 橋本資料館長 二子石生涯学習推進課長 酒井学校教育課主幹 廣川学校教育課主幹 長谷川学校教育課主幹 多治見学校教育課主幹 西世古学校教育課主幹 金丸学校教育課副主幹 山内学校教育課地域連携担当 (計29名)</p>		
次回開催予定日	令和6(2024)年11月12日		
問合せ先	<p>みよし市教育委員会学校教育課 電話：0561-32-8026 ファックス：0561-34-4379 メール：gakko@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> 議事録全文 議事録要約 	要約した理由	
審議経過			
鈴木教育部副参事兼 学校教育課主幹	<p>本日は、ご多用の中ご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より「第2回 みよし市教育振興基本計画推進委員会」を始めさせていただきます。初めに礼の交換をします。みなさまご起立ください。</p> <p>一同 礼 ありがとうございます。ご着席ください。</p> <p>なお、三好高等学校長の鈴木政之様、幼稚園父母の会代表、岡田文子様、から、文化財保護委員の鈴木睦子様より欠席の</p>		

	<p>連絡をいただいております。</p> <p>この会議につきましては、会議録を取らせていただく関係上、御発言される際は、お手元の機器のマイク電源をオンにしてくださいから、話していただきますようよろしくお願いいたします。</p>
増岡教育長	<p>それでは、本日の会議でお配りした要項に沿って進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、主催者を代表してみよし市教育委員会教育長、増岡潤一郎よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>教育長 挨拶</p>
鈴木教育部副参事兼 学校教育課主幹	<p>ここからにつきましては、みよし市教育振興基本計画推進委員会設置要綱によりまして、委員長であります大村先生に進行をお願いしたいと思います。</p>
大村委員長	<p>皆さんこんにちは。それでは、早速議事に入っていこうと思います。次第に従って進めさせていただきますが、委員紹介はもうよろしいですね。では3の「令和5(2023)年度、20の作戦PlusOne重点施策実施状況報告」からお願いしたいと思います。事務局からお願いいたします。</p>
事務局・多治見	<p>それでは事前に配付いたしました資料1を御覧ください。前回、主に委員の方々からいただいた意見について、触れていきたいと考えております。まず、作戦PlusOneについてです。成果指標について、みんなで育てるみよしっ子の全体像を知らなくても、ボランティアや地域行事等で子育てに関わっている市民は一定数いることから、第1回推進委員会で御意見いただいたとおり、知っているかどうかという指標にするのではなくて、みんなで育てるイメージの共有を図りつつ、令和8年度の新プラン策定に向けて、成果指標についての見直しを行っていきたく思っております。それでは、作戦2をお願いいたします。こちらの成果指標についても、第1回推進委員会で御意見いただいたとおり、実際には待機児童が発生している中で、利用者数が減ってしまっているという数値になってしまっているため、分かりやすい、成果指標となるように検討してまいります。続いて、作戦5をお願いいたします。令和5年度のアンケート結果では、小学校が76.6%、中学校が80.8%となっており、話し合う活動を通じて、自分の考えを深め、広げていると実感する児童生徒の割合が、思うほど伸びていないことから、話し合うよさを実感させられるような授業研究を行い、学び合いが目的にならないような授業づくりに努めていきたいと考えております。続いて、作戦6-1をお願いいたします。ICT活用について、学校間格差や教員感覚性を格差の是正につながるよう、ICT支援が学校の実情に合わせた支援目標を定めていきます。また、教員のキャリアステージに合わせたICT研修を実施し、ICTの必要性を共有し、活用</p>

スキル向上に努めていきたいと考えます。なお、第1回推進委員会で御意見いただいたとおり、小学校の低学年のときには、鉛筆を使って書くことも大切にしていきながら、発達段階に応じたICTスキルを身に付けられるよう指導していきたいと考えています。続いて、作戦7をお願いいたします。中学校では、ALTが参加する授業、25%分の時間数を各校に配分しておりますが、授業の進度との兼ね合いで、有効な活用が出来ていないため、どんな活用方法があるかを、夏の研修会を通じて、各校の先生方と、また、委託業者との検討を進めていきます。第1回推進委員会で御意見いただいたとおり、新プランの目標を、現場の先生方とも共有して、本物に触れる機会について、良い方法を考えていきたいと思います。それでは、作戦8をお願いいたします。第1回推進委員会で御意見をいただいたとおり、道徳教育の研究推進ということで計画を進めていくのであれば、成果指標については、人の役に立つ人間になりたいでよいかという部分について見直しを行っていききたいと考えています。また、このパーセントについても、数値が下がっているのか、なぜ下がっているのかという部分も丁寧に分析していきたいと考えています。それでは作戦9をお願いいたします。「いいじゃんスポーツチャレンジinみよし」については、第1回推進委員会で御意見いただきましたが、オンラインであっても、子どもたちが大変好評でやっていたというふうに聞いております。今後は、種目を増やすなど充実を図っていききたいと考えます。また成果指標についても多角的に検証し、児童生徒が運動を好きだと感じられるような内容を検討していきたいと思います。続いて、作戦11をお願いいたします。よりよい少人数学級の実施に向けて、子どもにとってどうかという視点でシステムを検討していきます。第1回推進委員会で御意見いただいたとおり、小学校だけに限らず、中学校においても実施できる方法を検討してまいります。作戦12をお願いいたします。成果指標について、既に目標数値に達しています。今後は、変化する社会状況や気候変動に対応できるよう、新しい時代の学びを実現する学校施設となるよう、指標についても検討してまいります。作戦10をお願いいたします。市内でのモデル校の実践をもとに、今年度は、市内全中学校と6小学校にてコミュニティー・スクールを設置し、地域学校協働活動の充実を図ってまいります。作戦14をお願いいたします。第1回推進委員会で御意見いただいたとおり、ターゲット層を高齢者や一部の方に限定せず、多くの市民や、子育て世代を学べる講座の開設など、いわゆるみんなが学べるような環境づくりを意識していきたいと考えています。作戦17をお願いいたします。子供たちをはじめ、市民から、どんな歴史民俗資料館になってもらいたいのかについて、今回のアンケートで調査してみることも検討したいと考えています。また、資料館在り方検討会での提言を受け展示や体験活動等に反映できる事柄や、今すぐにも反映出来

<p>大村委員長</p>	<p>ケート実施を行いますので、今日の協議会でアンケートについて、御意見いただいて、それをまとめたもので、9月に実施したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上簡単であります但資料2について説明を終わります。</p> <p>御質問等があれば、お願いしたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、5番目の協議事項に入っていきたいと思っております。協議事項の1、令和8(2026)年度、新計画での目指す人間像3本の柱について、事務局お願いいたします。</p>
<p>事務局・多治見</p>	<p>本日は、第2回推進委員会ということで、主な議題として現行計画の基本理念、目指す人間像、3本の柱について、それから、二つ目として、9月に実施するアンケート内容について御協議いただきたく考えています。前回もお示ししましたが、参考として国が定めている第4期教育振興基本計画について確認したいと思います。主に二つのコンセプトが挙げられています。一つ目が、持続可能な社会の創り手の育成になり、今まさに将来の予測が困難な事態となっており、自分たちで答えのない課題について、主体性やリーダーシップ、創造力等をもって、仲間と解決していく人材を育成していくこと。二つ目が、日本社会に根差したウェルビーイングの向上が挙げられており、多様な個人が幸せややりがいを感じるとともに、地域や社会の幸せや豊かさを感じられるようにすることとしています。今後、日本の人口減少が想定され、異なる国、性別、年齢の人たちと共生協働し、それぞれがウェルビーイングを向上させていく取組が大事になってくるかと思っております。これらを達成するために、国の教育振興基本計画では、五つの基本的な方針を示しています。①グローバル化に対応するために、学び続ける人材の育成、②全ての人の可能性を引き出すための教育の推進。③地域や家庭とともに学び、支え合うこと。④AIやロボットとうまく付き合うための教育DX推進。⑤計画を実行するための基盤整備、対応がキーワードになっています。次に、愛知県に目を向けますと、第4次教育振興基本計画として、あいちの教育ビジョン2025がつくられています。そこには7つの基本的な取組の方向が示され、その下に30の取組の柱と施策がつくられています。5つの基本的な取組のキーワードを見ていくと、国との共通する部分としては、①自ら学びに向かう、これは主体的に学び続けることとつながるのかなと感じます。自己の可能性を伸ばす、こちらは誰として取り残さないというキーワードに通じると思っております。⑤の世界とのつながり、生き生きと活躍するという部分については、外国人との共生ということにつながると感じております。また、それに加えて、②③で言えば、心の教育の部分、④で言えば、ふるさとに愛着をもち、発展させる人材の育成、⑥については、教師の働き方として魅力的な環境づくり、そして、最後には、安心安全に学べる事が盛り込</p>

まれていると感じました。次に、みよし市の大元の計画となるみよし市総合計画のポイントを確認したいと思います。今年度から5年間にわたって、教育の分野で示されているのは、みんなで育むという言葉があるように、社会全体でこどもの居場所や家庭支援を行うこと。それから異なる年齢、性別、国の人と交流できることが方針と示されています。やはり、通ずるものがあるなという印象を受けます。この点を踏まえて、現行のみよし市教育振興基本計画を見ていきたいと思えます。まずは、基本理念についてですが、学ぶ楽しさで、人と人とをつなぐとなっています。第1回教育振興基本計画推進委員会において、推進委員の方からいただいた意見として、コロナの影響もあり、地域や近所つき合いを初めとして、大人同士のつながりが希薄になっており、図書ボランティアの数も減ってしまっていることもあるとお聞きしました。多くの大人目で、あるいは地域で子どもたちを見守る機会が激減してしまっている現状があるかなと思います。大人がこのような状況であれば、おのずと子どもたちもかかわり方に影響が出て、ふるさとみよしの魅力を、大人が感じなければ、子どもも感じられないのではないかという話もありました。また、保育の考えから、御意見いただいたのですけれども、やはり子どもたちが楽しい実体験をたくさんすること、これが大きな土台となって保育していくことで、子どもたちは、その経験を生かして、自分で考え、応用してつながっていくとするという意見もありました。このことから、新計画になったとしても、学ぶ楽しさで人とつなぐという部分は変更しなくてもよいのではないかと考えております。続いて、目指す人間像についてです。現行の計画では、生涯にわたって自らを磨き続け、仲間とともにふるさとみよしを築き、より良い次代を創り出すとなっています。第1回振興基本計画推進委員会では、推進委員の皆様からは、変化が激しいこの先10年を生き抜くために必要な力について御意見いただきました。主だった意見を①から⑦にまとめてみました。①として、現行の作戦8になるのですけれども、心を育てる教育という部分があります。やはりこの部分は非常に重要な課題であるという意見をいただいております。どうしたら心を育てられるかというところでは、やはり自己肯定感、自己有用感を高めることが大事になってくると御意見いただいております。そのための方法としましては、やはり教員の多忙化解消、地域で活躍する機会の増加が必要ではないかという意見をいただいております。それから②自分のことばかりでなく、相手のことも考えられる想像力を身に付けさせること、これは、本を読むこと、読み聞かせを充実させることもポイントになってくるのではないかなと感じています。それから③変化や困難な状況に対応するため、しなやかな心、いわゆるレジリエンスが大事になってくるのではないか。それから④ICTと向き合っていくことはもちろん大事だが、みんなで喜んだり楽しんだ

りする遊びの経験というものは、やはり土台として必要ではないか。それから⑤番、これまでも出ていたように、基礎基本など、教えるべきところは確実に教えることが必要だが、目標に向かって、自分で考えてたどり着く力というものも必要ではないか。⑥こどもだけではなく、大人、子育て世代の保護者の学ぶ姿勢も大事で、その姿を見てこどもたちは自ら学ぶようになるのではないか。最後⑦としましては、一人一人の個性に合わせた教育というものが、高等学校や保育で制度化されていく動きがあるため、一人一人が自分に合わせたペースで学べるような学習を支援していくことは意識していくべきではないかという意見をいただいています。この点を踏まえ、目指す人間像については、基本理念との関連性やこの先10年の時代の流れを見据えると、やはり、見直すべき部分ではないかと感じております。今、皆様に事前配布いたしました資料のなかにも、カラー版で、この図をお配りしていますが、一度見ていただけますでしょうか。ここには全体像が示されています。三つの柱、もしかしたら、呼び方は三つの基本目標と言ってもいいのかもしれませんが、これは非常に目指す人間像の言葉と強い結びつきがあるように読み取ることが出来ました。例えば、目指す人間像の最初の一文ですね、生涯にわたって自らを磨き続けというこの言葉は、3本の柱でいうと2番目の柱につながっているなど。それから、ふるさとみよしを築きという言葉については、3番目の柱につながっているなど。それから、より良い次代を創り出す人という部分は、一つ目の柱と関連づけられているなどというふうに読み取れました。恐らく、目指す人間像と、この三つの柱というものを関連づけて、計画がくれたと読み取ることが出来ます。この三つの柱の在り方について、庁舎内の関係課と作業部会を行いました。そちらでもやはり話題に出てきました。特に三つの柱については、再考する余地があるのではないかなという意見が出ています。その中で出た意見について詳しく紹介させていただきます。柱の部分について、三つ目の柱が、どうも一つ目と二つ目とは意味合いが異なるのではないか。3本が並列の関係ではないのではないかとといった意見が出ました。具体的には、一つ目と二つ目を関連づけるための要素があるとか、あるいは、一つ目と二つ目の柱の土台となるイメージなのではないかとか、もしくは、一つ目と二つ目を意識して子育てを行うことで、結果、3番目のような市民が創り上げられるのではないかとといった見方が出ましたので、今日皆さまから見られて、感じられる部分を協議いただきたいなと思っております。続いて、皆様には、A3のカラー版「みよし市教育プラン体系別全施策一覧というものをお配りしております。こちらについては、先ほど3本の柱の部分だけを見ていくと、やはり施策の数を見れば、偏りがあるという感じがします。また、薄水色の枠になっている部分なんですけども、こちらについては、重点施策が入ってい

ません。重点施策だけに目を向けると、こちらにも非常に偏りがあるなあという見方ができると思っています。このように、非常に数も多いため、もう少し精選できるのではないかという意見も出されております。今後どこに重点施策を置くべきか考えることで、もう少し3本の柱の内容も見えてくる部分があるのかもしれませんが。この一覧もまた参考にしていただきたいなと思っています。この作戦の中だけに目を向けますと、やはりこのような構成になっておりまして、一つ目の柱のところはたくさんの作戦が今つくられている状況です。2番目のところが少なくなって、3番目が二つしかないというような構成になっておりますので、見直していただけたらいいのかなと思っています。資料3については以上です。続いて、資料4のアンケートについての説明をさせていただきます。5種類のアンケートを、皆さんにはお配りしております。全て資料4とさせていただきます。これはいずれも2年前にとった、令和4年度のもをそのまま皆様方にはお配りしております。よく見ると、5年しかたっていないのですが、もう既に時代に見合っていないものや、この先10年を考えると、この聞き方は別に必要ないのではないかと。やはり推進計画の成果資料に使っていくのであれば、やはりこういう聞き方がいいのではないかと、こういう説明があったほうがいいのではないかとといったような見方で御協議いただけたらなと思っています。参考に、作業部会でお出された意見を出させていただきます。例えばあてはまるすべてを選んでくださいという聞き方が非常に多かったが、これをやってしまうとほとんどすべて選んでしまうということになってしまうので、何が本当に重要なものか分からなくなってきてしまうのではないかと意見もありました。1番アンケートを行う上で懸念していることがWebで行うということになります。他課でWebで行ったアンケートがありますが、実際回収率が20%台となったということがありました。担当課の意見としては、やはり質問の数が多かったと。しっかり目的を明確にして、これをとりたいという設問だけに精選して、質問数を減らしていただけたらというようなアドバイスをいただいております。あとは福祉課の観点からすると、配慮したような文面になるというということも、出されておりました。これも参考にしながら、御協議いただけたらなと思っています。それでは、この後の協議について説明させていただきます。ABCで今座っているメンバーで御協議をいただきたいと思っています。それぞれ、まず25分ずつ、協議をしていただきます。一つ目は、目指す人間像と3本の柱について、今ある構成を見ていただいて、思うことや感じることを御意見いただきたいなと思っています。これが25分間です。そのあと、各グループの話し合った内容を指導主事が、説明をさせていただきます。その後休憩をとらせていただいて、②番の、次はアンケートの内容について見ていただくと。これも25分間とって話し

	<p>合っていただきます。アンケートが5種類もありますので、各グループで特に見ていただきたいアンケートがございます。Aグループについては、保護者アンケートを中心にしてください。Bグループについては、教員等、小学生中学生によるアンケートについて見ていただきたいです。Cグループについては、市民アンケートについて見ていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。私のほうからは以上です。</p>
大村委員長	<p>はい、御説明ありがとうございました。それでは今の御説明について何か御質問等ありますでしょうか。今からのグループでの協議についても御説明がありました、よろしいでしょうか。はい。お願いします。</p>
山田委員	<p>三好丘小学校PTAの山田です。アンケートについて少し質問させていただきます。前提としてこのアンケートは、全ての方に配布しますか。市民のアンケートについてです。すみません聞きそびれたかもしれないのでお願いします。</p>
事務局・多治見	<p>はい、ありがとうございます。本当に抽出するような感じになりますので、どこの家庭に行くか分からない感じで、調査をするため、全部の世帯ではないという感じになります。</p>
山田委員	<p>ありがとうございます。 そうならば、ランダムに選ぶということになるのでしょうかから特定のこういうターゲットを狙ってとかそういうわけではないということによかったですかね。ありがとうございます。</p>
大村委員長	<p>4-1の市民対象のアンケートについての御質問によかったですか。第1回するときにも質問があったかと思いますが、それぞれの年齢段階に分布して抽出するというそういうことでしたでしょうか。</p>
事務局・多治見	<p>すみません。2年前と同じような感じで考えておりますので、そこの時の取り方をもう1回しっかりと確認した上でまた回答させていただきます。</p>
大村委員長	<p>性別であるとかこの市民対象のところの、最初のフェイスシートのところの属性が、きちんと分布するような形が望ましいです。御検討いただけたらと思います。今の御質問に、関連して言うと、小5、中2は、これは学年の全ての児童生徒ということによろしいでしょうか。</p>
事務局・多治見	<p>はいそのとおりです。</p>

大村委員長	保護者は、小5と中2の保護者ですか、それとも全保護者でしょうか。
事務局・多治見	保護者については児童生徒の学年の保護者という考え方は。
大村委員長	ですから小5と中2のこどもがいる保護者ということですね。教員は全教員、これ非常勤の教員の方も含めて
事務局・多治見	そうですね。一応非常勤の方については極力やればということ、基本的には常勤の方と考えております。
大村委員長	フェイスシート最初の属性のところ、常勤か非常勤かというのがないので、常勤に限定すればそれを聞く必要はないのでしょうか。ただ非常勤の方にもお聞きするとなれば、属性の質問も必要になってくるのかなというふうに思います。はい。どなたを対象にアンケートをとるかということについては御説明ありましたので、またそのことも、それぞれのグループのところで、御意見があったら出していただければと思います。はい、そのほかいかがでしょうか。はい、では特になければこの後ですね、グループでの話し合いに移っていきたいと思います。今から25分間、資料3の目指す人間像についてということよろしいですかね。はい。タイムキープはそれぞれのグループに入ってください方をしていただければいいですかね。
事務局・多治見	はい。25分間なので、50分からとして、3時15分までを一つの区切りとしたいと思いますので、取り回しの職員と、ホワイトボードをまとめる指導主事で、声をかけて行きたいと思います。
大村委員長	はい、ありがとうございます。では3時15分までが最初のグループでの御協議ということで、お願いしたいと思います。それではそれぞれのグループでお願いいたします。 <各グループで「目指す人間像」「3本の柱」について協議>
大村委員長 長谷川学校教育課主幹	それではAグループからお願いできますでしょうか。 <Aグループ発表> Aグループです。今の3つの柱ですが、どれも大事である。ただじっくり読むとよく似ているところもあり、市民の方にとっては、ちょっとわかりにくいのではないかなというような話がありました。そのため、柱は一つにして、キャッチフレーズ的に、例えば「人と人を繋ぐ」とか「ふるさとみよし」とか、そういうような単語でシンプルに表した方がいいのでは

<p>大村委員長</p> <p>廣川学校教育課主幹</p>	<p>ないかという案ができました。その中で例えば「ふるさとみよし」というキャッチフレーズみたいなものであれば、みよしに来るとほっとできるよ、安心できるよっていうところから、愛着をもとうというところにも繋がっていくのではないかという話になりました。それからイメージとしては柱が今は3つに分かれているけど、イメージとしては真ん中に柱があり、そこに付随して周りに来るような、キャッチフレーズのような感じで、シンプルに表すことで、それぞれの個々が自分ではこんなことができるかなって考えることができ、生かされるのではないかというようなお話も出ました。それからこの目指す3本の柱の主語は誰あてに言っているのだろうかというところで、今は3つになっていて、実際自分がどこに属するのか、自分が何をしたらいいのか分かりにくいというところがあったんですけど、これについては方針を皆で共有して、みんなでやっていくっていう主語でいいじゃないかというようなお話になりましたけれども、とにかく市民の方にとってわかりやすくシンプルにというようなお話になります。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。それではBグループのご報告をお願いいたします。</p> <p><Bグループ発表></p> <p>Bグループになりますが、まず3本の柱についてです。やはり3本目の「ふるさとみよし」というものが、何かぼやけて見えて明確じゃないんじゃないかと思う。それをもっと具体的に、例えば「地域社会を支える」だとか、「地域の繋がりを強くする」といったものになるとよいのではないかということで、そういったものが結果的に、心だとか郷土愛とか文化、「ふるさとみよし」といったことに繋がっていくんじゃないかっていう意見が出ました。やはりみよしだけを見ているのではなくて世界を見ていくようなことも、これからは必要になってくるんじゃないかという考えも出てきました。3本の柱について、今は①子育て②生涯③ふるさとみよしとなっていますが、やはり③については、地域社会といったものがこの3本柱で考えていくならバランスがいいのではないか、この地域社会というものが子育て、生涯の中の両方を支えているものなのか、それともこの3本として支え合っているのかによってこれが2本になったり3本になったり、どちらなのかなっていうことが出ました。地域社会に出た場合、こどもも大人も地域の中で学んでいき、そういったことが最終的に地域を支える大人になっていくのではないか。部活の地域移行も、こういった地域社会の一つのものではないか、地域で学べる環境をつくっていくことが必要になってくるのではないかということが出てきました。目指す人間像も少し話し合いをしたのですが、やはりみよしを創る人を育てるよという言</p>
-------------------------------	--

	<p>葉に見えるため、みよしだけじゃなくて、今後羽ばたいて他の地域に出たときは、その地域で社会をつくっていく、そういう人を育てるべきじゃないかという思いはありつつも、やはり行政の政策なので、どこかに「みよし」っていう言葉も入れたいんじゃないか。やはり残ってみよしを良くしていく、そういったことも必要じゃないかっていう話が出てきました。以上になります。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。それではCグループお願いいたします。</p>
<p>酒井学校教育課主幹</p>	<p><Cグループ発表> よろしく申し上げます。委員の皆様の率直な意見をここで紹介させていただきます。まず順番に、基本理念についてなんですけれども、「人と人をつなぐ」というのが、少しぼんやりしすぎていて、市民が見たときに、抽象的すぎるのではないかと。これに関連すると、教育プランの全体像や施策一覧もそうなんですけれども、教育に力を入れていることが見てわかる全体像になっていくといいのではないかとというご意見をいただきました。やはりみよしに住んでいる人はもちろんなんですけれども、やはりこれを見てもよしに住みたいなど感じる方もいるだろうと、そういった意味で、やはり誰もが見てわかりやすい、そういったデザインにしていくといいのではないかとという意見が出ました。3本の柱についてなんですけれども、Cグループの方では、やはり「ふるさとみよし」っていうのがビジョンだろうと。これに向けて、0歳から100歳の学習が進められているのではないかとという話になりました。そうすると施策の方については、やはりずれがあるのではないかと。むしろⅢに入っているものがⅠに吸収されていって、最終的にふるさとみよしというビジョンに向かっていける。そういった形になるといいのではないかとという話が出ました。やはり市民の方、一般の方が見られるというところで、言い回しの部分についても話題になりました。「～します」や「育てる」ですが、これの主語はだれか。市がやるとしたら、地域の方は市がやってくれるから自分たちは何もなくて位いいという感覚にもなってしまわないかといった話も出ました。はい、以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>非常に多様な意見が出されたと思いますが特に3つの柱についての関係性であるとか、あるいはそれをいかにわかりやすくしていくのか。というところで、ご意見が多数出されたかなと思います。それではここで少し休憩をとりまして、40分に再開して、先ほどご説明ありましたアンケートの検討に入っていきたいと思いますが、事務局から何かございますか。</p>
<p>事務局・多治見</p>	<p>アンケートの件について一点説明し忘れておりました。ア</p>

<p>大村委員長</p> <p>大村委員長</p>	<p>アンケートのところに、質問1とか2とかの文字なんですけども、その文字が太字になっていって、下線が引いてあるものについては、現行のプランの成果指標で使われている項目にもなりますので、これは今年度9月に実施するときは残さないといけない項目だと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>はい、ありがとうございます。またそれはそれぞれのグループでご確認いただけたらと思います。それでは今から休憩に入ります。40分には再開いたします他の席に戻るお戻りいただきたいと思ひます。</p> <p><休憩></p> <p>はい。時間が参りましたので、それでは、後半のグループでの話合ひに入りたいと思ひます。</p> <p><各グループで「アンケート内容」について協議></p>
<p>長谷川学校教育課主幹</p>	<p><Aグループ発表></p> <p>WEBでいくと回答率が下がるということでしたけども、WEBでも紙でもどちらでもいいよとなると少し上がるかもしれないという御意見がありました。また、アンケートの内容としては、1か所でもよいので、選ぶだけではなくて必ずここは書いてくださいというような記述式があるといいのではないかと、保護者アンケートでいけば、27番とかそれから1番最後に、ふるさとみよしについての保護者の方のお考えを書いてくださいというような設問を入れるといいのではないかと。それからその他という書き方があるのですが、一般的にその他ってよくあるが、その他を書かずに、どこからか選んでしまうことになってしまいがちなので、自由記述とか、思いをたくさん書いてくださいみたいな形でその他というふうではないようにしてはどうだろうかというふうなお話がありました。それから、当てはまるものすべてというところを変えていくというふうなお話も事務局から出ましたけれども、いくつ選ぶっていうだけでなく、これが1番これが2番というような順位付けをしていくことも大事ではないかと。それから、今回は、高校生とか大学生とか、その保護者についての御意見はアンケートでは聞かないというようなことで、それはどうかなというような御意見がありましたけど、こども若者アンケート等もとっているものでそちらでとれているのであれば、特に必要ないかなというふうなお話になりました。具体的には、いろいろ出たんですけども、言葉の使い方、16の②「よくない影響を与えず」というのは、誰もが思っていることなので、その言葉使わないとか「負担をかけない」というのは、「ボランティアで」というような言葉に代えていくことや、14には、部活動のこと</p>

<p>大村委員長</p>	<p>があるのでここは小学校がなくなったので中学校の部活動についてという記述する。それから、18は、学校教育、地域教育、家庭教育の三つの充実度みたいなのははかるところだったんですけど、それぞれの教育がどんなものか、実際分かっていないと回答出来ないし、そもそも充実度ってどういうことですかということになるので、答えにくいなっていう意見がありました。それから、7番から10番のところは、保護者が求める学校教育の満足度を聞くところですけども、これも学校と家庭のお気持ちのところなのでつながりを考えて、言葉とか書き方を検討していくといいということがありました。それから、24「ふるさとみよし」というところに関連して自由記述ができるといいのではないかなというようにお話になりました。それから、20のところですけども、学校のことをどのように情報発信していますかという質問だと思うのですが、学校のことを保護者の方によく知ってもらう、何かの手だてになるので、ここの質問も工夫したらどうかというようにお話ありました。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。それではBグループからお願いたします。</p>
<p>廣川学校教育課主幹</p>	<p><Bグループ発表></p> <p>Bグループは主に教員アンケートと、こどもへのアンケートについて話し合いをしました。教員については大分、不必要なところがあるのではないかなというところで、まず、部活動についてなんですが、現状が変わっているので、ここは見直すべきだということだとか、あと、10、19、20、21、15、16は、不必要な部分があるのではないかな。またつながりといった面で小中の先生だけでいいのかな、例えば幼稚園、保育園の先生にも聞いて、アンケートをとって次につなげていくこともしていく必要があるんじゃないかというところ、あと教員自身が楽しんでいるか、充実した生活を送っているのかについても必要になってくるんじゃないか、また先生たちが地域とどう関わっているかといったところも量れるといいんじゃないかということが出てきました。こどもに関しては小5と中2にアンケートをとる予定ですが、小1と中1は、問題等が起きやすい学年ではあるので、同じアンケートをするのかまた違ったアンケートでもいいので、意見を聞くべきではないかというのが出ました。具体的に質問に関しては部活動については先ほどと同じで必要ない。あと英語でいうと、街で外国の人に合わないの、そういった普通の生活の中で想定出来ないものは省いていく、あるいは変更していく必要があるのではないかなということ。あと、先ほどあったように自由記述で聞いたほうがより具体的に分かりやすい質問については、自由記述を入れていくべきではないかといったことも出てきました。先ほど言ったようにやはり選ぶ個数を指定しないと全部選んでしまい、分析していくうえで参考にならない</p>

	<p>ものになってしまうので個数を絞っていくといいんじゃないかということです。1番最初に書いてありますが、アンケートは答える側がどんな趣旨で、アンケートをとっているのかというのが、実際に分かったうえでやっていくと、答える側も、前向きにおこなってくれるのではないかという意見も出たので参考にしていきたいと思います。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。それではCグループからお願いたします。</p>
<p>酒井学校教育課主幹</p>	<p><Cグループ発表></p> <p>A, Bグループと重なっている部分はなるべく省かせていただきたいと思います。まず、アンケートが振興計画のために実施していることを明確にして、答えてもらうといいのではないかと。特に市民対象になりますので、このアンケートが何であるのかということを知ってもらえるように、1枚目がほかのアンケートと比べると違っていたのでそのことから特に振興計画のためであるということを確認したいという話がありました。全体的に言えますが、アンケートの目的をはっきりしたものにしてほしいというところで、市民対象のものでいうと、「市民の思いを聞く部分」と「実態を聞く部分」をはっきり分けて分かりやすくするアンケートにするという話が出ました。分析に使う目的があれば、その質問も必要であるかもしれないけれども、それがただ聞いているだけなのであれば、先ほどAグループ、Bグループもそうでしたけれども、必要ないのではないかと話でした。最後に、26の質問ですけれども、これを使って、やはり核家族化で、子ども数も減っている中で、保護者が保護者としての育てが分かる。要するに、保護者がどれだけ育てているのかということが分かるような、アンケートが出来ないかという話が出たのと、もう一つは夢をもてるような生涯学習という分りにくいまとめかもしれないけれども、年をとったことによって、みよしから出ていってしまう実態もやはり見受けられると。そうすると、みよしにとどまってもらうためにも、そういった夢をもてるような生涯学習があったらいいな、あるんだよってというのがアンケートで見えてくるようなものができればいいのではないかと話が出ました。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。アンケートについては、非常に項目も多いですけども、全体的な項目を減らしていくという話もありましたけども、しかし、このアンケートの中で、もう少しこういうことは聞きたいということも出てきたと思います。整理のほうを事務局でお願いしたいと思います。それでは、協議事項1と2ということで進めてまいりました。ここのところで、少し全体で少し御意見がもしあればお聞き</p>

したいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。最初に、教育長の先生から会議終わった後でまた御意見をいただきたいというお話もありましたので、御感想などを事務局にお寄せいただければと思います。最後私のほうから特にアンケートについて、少しコメントさせていただきたいと思います。1つは、先ほども出てきたかと思いますが、意見を聞きたい方たちはもう少しいるのかなという気がしてまして一つは小1、中1のこどもたちあるいはその保護者ですね、1番トラブルが起きそうな学年ではないかということで、ぜひ何らかの形で意見が集約できるといいと思いますし、あと学校に関わってこどもたちと向き合っている教職員というところでは、Bグループでは、保育園あるいは幼稚園ということが出ていましたが、学校事務職の方、それからスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの方たちにも、これとは別でもいいんですけども意見を集約することができるのかなと思います。また、さらに言えば、学童保育、放課後児童クラブとか、こども教室とか、そういった形で学校やこどもに関わっていらっしゃる方たち、そういう方たちからの意見の聞き取りをお考えいただきたいなと思います。紙だと大変ですけども、WEBで意見を書き込んでいただくという形だとかなり広範な人たちが、意見を言ってみようかなということもあるかと思しますので、そういった意見集約の機会をつくるというお知らせをしていただいて、書き込むページをつくっていただくということで何とかするのではないかと思いますので、ぜひ御検討いただけたらと思うのが一つです。それから、それに関わって、少数だけでもしかし、聞き取りが必要なこどもたちという意味では、不登校傾向のこどもたちとか、あるいはその障がい児、それから外国ルーツのこどもたち、あるいは性的少数者のこどもたちですね、そういったこどもたちの少数だけれども大事な声として、どう聞き取っていくのかっていうことも、これはもうだれでもいいから書いてくださいっていう形では難しいと思いますので、日常的に、そういったこどもたちと接している方たちを通して、意見の聞き取りをしていただけるといいのではないかな。だからヒアリングっていう形になりますかね。そういった形をぜひ、御検討いただけたらというふうには思います。これはこどもだけではないですが、特に今回、大人がふるさとみよしをどういうふうに感じられるか、あるいはそれとどう関わっているかという御意見も出ていましたが、このみよしのまちの中で、居場所と思える場所、安心できる場所ということをこどもにもぜひ聞いていただきたいのですが、大人にもですね、自分にとってすてきだと思えるところはどこなのかということを少し挙げていただくことも大事なのかなと思います。一つはこどもたちにとってはそういった居場所があるのかどうかということを確認していくことが必要ですし、同時にその街の魅力の再発見ですね。こどもも大人もから御意見をい

	<p>ただくということにもつながっていくというふうに思いますので、そうした居場所ということも少し質問紙として御検討いただけたらというふうに思います。こうしたこどもから大人まで、そういった御意見を集めることで、それが、教育振興基本計画につながっていけるのではないかとというふうに思いますので、集約の作業については、事務局の皆さんに非常に御苦勞をおかけするというふうには思いますけども、大事な部分だと思しますので、ぜひお願いしたいというふうに思います。時間がちょっと迫っておりまして申し訳ありませんでした。それでは、以上で、協の内容は全て終了したかと思えます。それでは、事務局に進行をお渡ししたいと思います。</p>
<p>鈴木教育部副参事兼 学校教育課主幹</p>	<p>大村先生どうもありがとうございました。今後の予定について事務局より説明します。よろしくお願ひします。</p>
<p>事務局・多治見</p>	<p>要項6のその他のところでは、第3回はそこにあるとおり、1月12日火曜日、第4回が2月26日水曜日を予定しております。また、案内を送付させていただきますので、よろしくお願ひいたします。以上です。</p>
<p>鈴木教育部副参事兼 学校教育課主幹</p>	<p>以上をもちまして第2回みよし市教育振興基本計画推進委員会を終了させていただきます皆様御起立をお願いします。一同礼、御着席ください。どうもありがとうございました。気をつけてお帰りください。</p>